

NYマーケットレポート (2017年4月27日)

NY市場では、序盤に発表された米新規失業保険申請件数や耐久財受注が冴えない結果となったものの、ドラギ ECB 総裁が定例会見で「経済への下振れリスクはさらに後退した」と発言したことが好感され、ユーロが上昇となったことから、ドル円やその他のクロス円も堅調な動きとなった。しかし、その後には出口戦略、フォワードガイダンス変更に関して議論しなかったが明らかとなり、一転してユーロ売りとなった。

特に、先日フランス大統領選挙の第1回投票の結果を受けて、ECBが6月の理事会でフォワードガイダンスの変更を検討しているとの関係筋の話が報じられたことで期待感が高まっていたことから、発言を受けてユーロの失望売りが強まった。

また、株価が下落に転じたことや、米債券利回りの低下も加わり、円買い戻しの動きが優勢となった。終盤には、値を戻す動きが見られたものの、ドル円・クロス円は上値の重い動きが続いた。

2017年4月27日(木)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	111.28	111.43	111.02
EUR/JPY	121.35	121.59	121.08
GBP/JPY	143.44	143.70	142.61
AUD/JPY	83.20	83.41	82.97
EUR/USD	1.0905	1.0921	1.0896

LONDON	高値	安値
USD/JPY	111.44	111.22
EUR/JPY	121.64	121.17
GBP/JPY	143.69	143.27
AUD/JPY	83.32	83.12
EUR/USD	1.0920	1.0880

*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	111.19	111.60	111.04
EUR/JPY	120.93	121.89	120.61
GBP/JPY	143.54	143.89	143.14
AUD/JPY	83.06	83.29	82.74
NZD/JPY	76.50	76.67	76.13
EUR/USD	1.0875	1.0933	1.0852
AUD/USD	0.7470	0.7474	0.7440

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	20981.33	+6.24
S&P500	2388.77	+1.32
NASDAQ	6048.94	+23.71
日経225 (CME)	19235	+60
トロント総合	15506.47	-143.08
ボルサ指数	49440.96	-124.20
ボバスタ指数	64676.55	-185.37

4/28 経済指標スケジュール

08:01	【英国】4月GFK消費者信頼感調査
08:30	【日本】3月失業率・3月有効求人倍率
08:50	【日本】3月小売売上高
08:50	【日本】3月百貨店・スーパー販売額
08:50	【日本】3月鉱工業生産
10:00	【ニュージーランド】4月ANZ企業景況感
10:30	【オーストラリア】1Q生産者物価指数
11:30	【シンガポール】1Q失業率
14:00	【日本】3月住宅着工戸数・3月建設工事受注
14:30	【フランス】1Q GDP
15:00	【ドイツ】3月小売売上高指数
15:00	【ドイツ】3月輸入物価指数
15:45	【フランス】3月生産者物価指数・4月消費者物価指数
15:45	【フランス】3月消費者支出
16:00	【トルコ】3月貿易収支
17:30	【英国】1Q GDP
17:30	【英国】3月BBA住宅ローン承認件数
18:00	【欧州】4月消費者物価指数
21:00	【南アフリカ】3月財政収支・3月貿易収支
21:30	【カナダ】2月GDP
21:30	【米国】1Q GDP・1Q個人消費
22:00	【メキシコ】1Q GDP
22:45	【米国】4月シカゴ購買部協会景気指数
23:00	【米国】4月ミシガン大学消費者信頼感指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1265.90	+1.70
NY 原油	48.97	-0.65
CME コーン	369.25	+2.50
CBOT 大豆	957.25	+0.75

米国債利回り	本日	前日
2年債	1.254%	1.270%
3年債	1.435%	1.457%
5年債	1.819%	1.825%
7年債	2.096%	2.105%
10年債	2.295%	2.302%
30年債	2.963%	2.959%

ドイツ10年債	0.296%	0.352%
英国10年債	1.064%	1.083%

4/28 主要会議・講演・その他予定

- ・フィラデルフィア連銀総裁 講演
- ・EU臨時首脳会議 (29日)
- ・トランプ米大統領就任100日目 (29日)

NY 市場レポート

20 : 45

◀ 経済指標の結果 ▶

欧州主要政策金利 0.00% (予想 0.00%・前回 0.00%)
 欧州限界貸出金利 0.25% (予想 0.25%・前回 0.25%)
 欧州中銀預金金利 -0.40% (予想 -0.40%・前回 -0.40%)



出所 : Bloomberg

21 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

4月ドイツ消費者物価指数(前月比) 0.0% (予想 -0.1%・前回 0.2%)
 4月ドイツ消費者物価指数(前年比) 2.0% (予想 1.9%・前回 1.6%)
 4月ドイツEU基準消費者物価指数(前月比) 0.0% (予想 -0.1%・前回 0.1%)
 4月ドイツEU基準消費者物価指数(前年比) 2.0% (予想 1.9%・前回 1.5%)



出所 : Bloomberg

21 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

新規失業保険申請件数 25.7万件 (予想 24.5万件・前回 24.3万件)
 前回発表の24.4万件から24.3万件に修正

失業保険継続受給者数 198.8万人 (予想 200.7万人・前回 197.8万人)
 前回発表の197.9万人から197.8万人に修正



出所 : Bloomberg



出所 : Bloomberg

米失業保険申請件数は、市場予想の24.5万件を上回る前週比+1.4万件の25.7万件となり、2週連続で増加した。申請件数の4週移動平均は、前週比-500件の24万2250件。また、集計が1週遅れる失業保険継続受給者数は、前週比+1.0万人の198.8万人と4週ぶりに増加。受給者総数の4週移動平均は、前週比-1.6万人の200万7250人となり、2000年6月10日までの週以来の低水準となった。受給者比率は、前週比横ばいの1.4%だった。

21:30

◀ 経済指標の結果 ▶

3月米耐久財受注(前月比) 0.7% (予想 1.3%・前回 2.3%)

前回発表の1.8%から2.3%に修正

3月米耐久財受注[除輸送用機器](前月比) -0.2% (予想 0.4%・前回 0.7%)

前回発表の0.5%から0.7%に修正



出所: Bloomberg

経済指標データ

◀ 米耐久財受注 ▶

	3月	2月	1月	12月	11月	10月
耐久財新規受注	0.7	2.3	2.4	-0.9	-4.7	5.0
輸送機器除く	-0.2	0.7	0.3	0.9	1.1	1.1
国防関連除く	0.1	2.7	2.2	1.2	-6.7	5.2
資本財	2.5	4.1	5.2	-3.2	-13.2	12.5
輸送機器	2.4	5.5	7.0	-4.3	-14.7	12.3
総在庫	0.1	0.2	0.1	-0.1	0.2	-0.1

3月の米耐久財受注は、市場予想の+1.3%を下回る前月比+0.7%の2387億1300万ドルとなり、3ヵ月連続のプラスとなった。民間航空機受注が前月に引き続きプラスとなったが、自動車・同部品はマイナスとなったことが影響した。また、輸送機器を除いた受注は-0.2%と、市場予想の+0.4%を下回り、マイナスに転じた。

①輸送機器は+2.4%となり、民間航空機が+7.0%、国防関連の航空機が+26.1%、自動車・同部品は-0.8%となった。輸送機器以外では、一般機械、電算機・電子製品がそれぞれマイナス。

②資本財は+2.5%となり、資本財から国防関連を除いた受注は+1.2%、民間設備投資の先行指標となる非国防資本財から航空機を除いたコア受注は+0.2%、国防関連は+12.2%。

③耐久財全体の出荷高は+0.2%、受注残高は+0.2%、在庫高は+0.1%だった。

21 : 35

◀ 要人発言 ▶

ドラギ ECB 総裁

- ・「経済への下振れリスクはさらに後退した」
- ・「基調的なインフレ指標は依然として弱い」
- ・「出口政策の順序を現時点で議論する必要ない」
- ・「出口戦略、この日は議論しなかった」
- ・「フォワードガイダンス変更について、ECB は議論しなかった」



出所 : Net Dania

22 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

3月メキシコ貿易収支 -1.83億USD (予想 9.58億USD・前回 6.84億USD)



出所 : Bloomberg

23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

3月米中古住宅販売仮契約（前月比） -0.8%（予想 -1.0%・前回 5.5%）

3月米中古住宅販売仮契約（前年比） 0.5%（前回 -2.4%）



出所 : Bloomberg

経済指標データ

◀ 中古住宅販売仮契約 ▶

	3月	2月	1月	12月	11月	10月
全米	-0.8	5.5	-2.8	0.8	-1.3	0.1
北東部	-2.9	3.4	2.3	1.3	1.0	0.0
中西部	-1.2	11.4	-5.0	-0.3	-1.7	1.2
南部	1.2	4.3	0.4	1.6	-0.9	-0.7
西部	-2.9	3.1	-9.8	2.0	-3.3	0.5

（前月比%）

	3月	2月	1月	12月	11月	10月
全米	0.5	-2.4	2.7	-2.0	1.4	0.2
北東部	2.1	1.4	5.9	-3.1	8.8	1.8
中西部	-2.9	-5.4	-0.1	-5.8	-0.7	-0.9
南部	2.8	-0.1	4.1	-1.6	0.6	-0.5
西部	-1.4	-5.5	1.2	1.9	0.0	1.2

（前年比%）

NAR（全米不動産業者協）が発表した3月の中古住宅販売仮契約指数は、前月比-0.8%の111.4（2001年=100）と2ヵ月ぶりのマイナスとなった。前年同月比では+0.8%となった。地域別では、北東部が-2.9%、中西部が-1.2%、西部が-2.9%、南部は+1.2%だった。仮契約は、通常1-2ヵ月以内に本契約に移行するためNARの仮契約指数は中古住宅市場の先行指数とされる。また、5月の中古住宅販売見通しでは、2017年の販売件数が前年比+3.5%、2018年が+2.9%を見込んでいる。中古住宅の中間販売価格の見通しは、2017年が前年比+5.0%の24万5600ドル。2018年は+3.5%の25万4100ドルと予測している。

0:00

◀ 経済指標の結果 ▶

4月カンザスシティ連銀製造業活動指数 7 (予想 17・前回 20)



出所：Bloomberg

◀ NY 債券市場 ・ 午前 ▶

序盤のニューヨーク債券市場は、前日にトランプ米政権が発表した税制改革案の実現性に対する懸念や、原油価格の値下がりなどを背景に投資家のリスク回避志向が続き、中長期債を中心に安全資産とされる米国債を買う動きがやや先行した。ただ、午後の米7年物国債入札を前に様子見ムードも強く、値動きは限定的だった。

午前の利回りは、30年債が2.96% (前日 2.96%)、10年債が2.29% (2.30%)、7年債が2.10% (2.11%)、5年債が1.82% (1.83%)、3年債が1.44% (1.46%)、2年債が1.27% (1.27%)。

◀ 欧州のポイント ▶

フランス大統領選挙の世論調査 (オピニオンウェイ)
 決戦投票マクロン前経済相は59% (24日時点 61%)、ルペン国民戦線 (FN) 党首は41% (39%)

英国総選挙 (6月8日) の世論調査による政党支持率 (4月26日現在) 保守党45% (4月19日時点 48%)、労働党29% (24%)、自由民主党10% (12%)、英国独立党7% (7%)、緑の党3% (2%)、スコットランド民族党5% (6%)。

2:00

◀ 米財務省7年債入札 ▶

最高落札利回り・・・2.084% (前回 2.215%)
 最低落札利回り・・・1.888% (前回 1.888%)
 最高利回り落札比率・・・11.62% (前回 19.22%)
 応札倍率・・・2.73倍 (前回 2.56倍)

◀ 欧州株式市場 ▶

欧州株式市場は、フランス大統領選の決選投票への警戒感が和らいだことから上昇が続いていた流れが一服し、利益確定の売りが先行した。また、原油価格の下落なども投資家心理を冷やした。

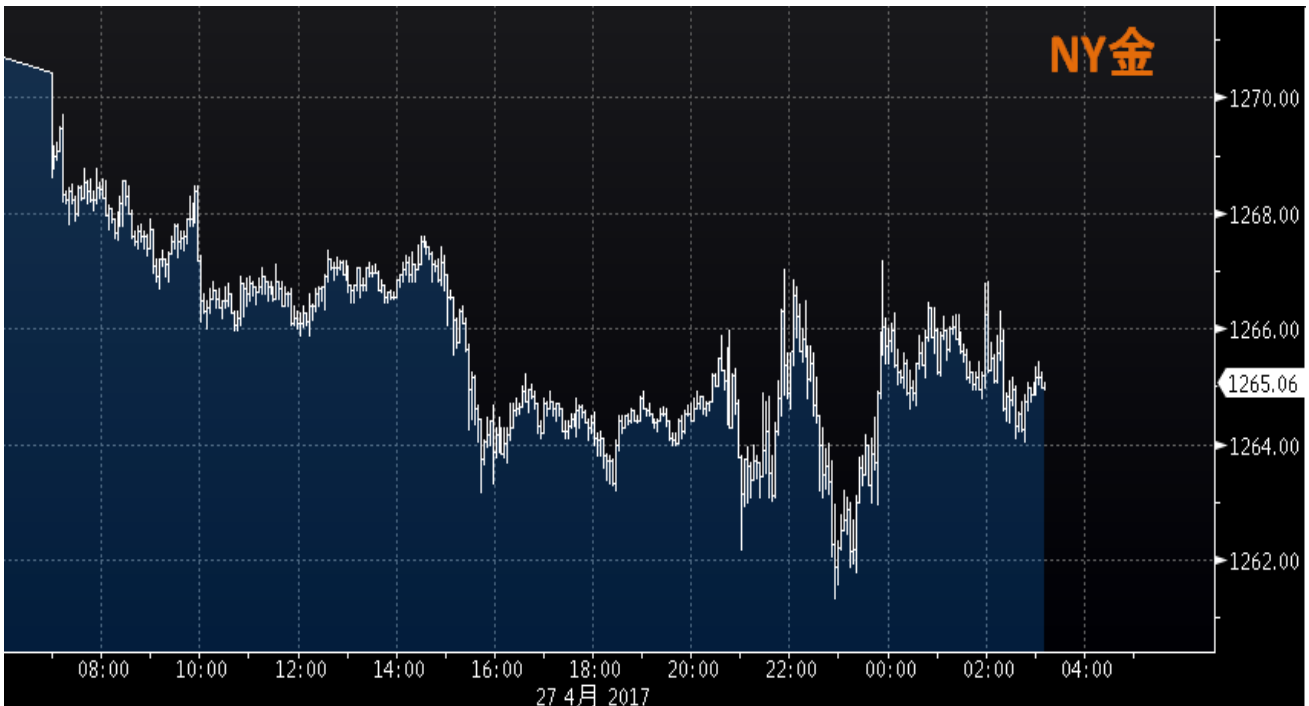


出所：Bloomberg

◀ NY 金市場 ▶

NY 金は、中心限月が前日比 1.70 ドル高の 1 オンス=1265.90 ドルで取引を終了した。

NY 金は、トランプ米政権が前日発表した税制改革案は具体性に欠けるとの受け止めから投資家のリスク志向が弱まり、比較的安全な資産とされる金を買われた。ただ、ドルが主要通貨に対して上昇したためドルの代替資産としての需要が後退し、上値は限定的となった。



出所：Bloomberg

◀ NY 原油市場 ▶

NY 原油は、中心限月が前日比 0.65 ドル安の 1 バレル=48.97 ドルで取引を終了した。

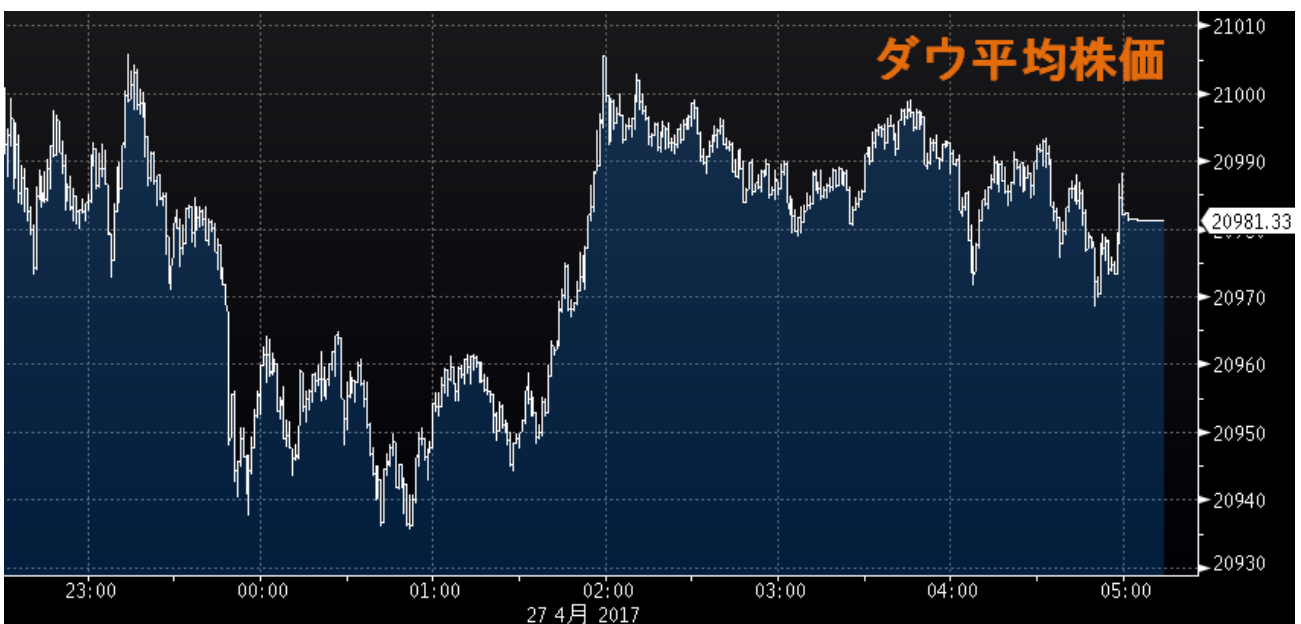
NY 原油は、武装勢力の妨害で一時停止していたリビアの油田での生産が再開したとの報道を受けて、供給増加への警戒感から売りが優勢となった。終値ベースでは、3 月下旬以来約 1 ヶ月ぶりの安値となった。



出所：Bloomberg

◀ 米株式市場 ▶

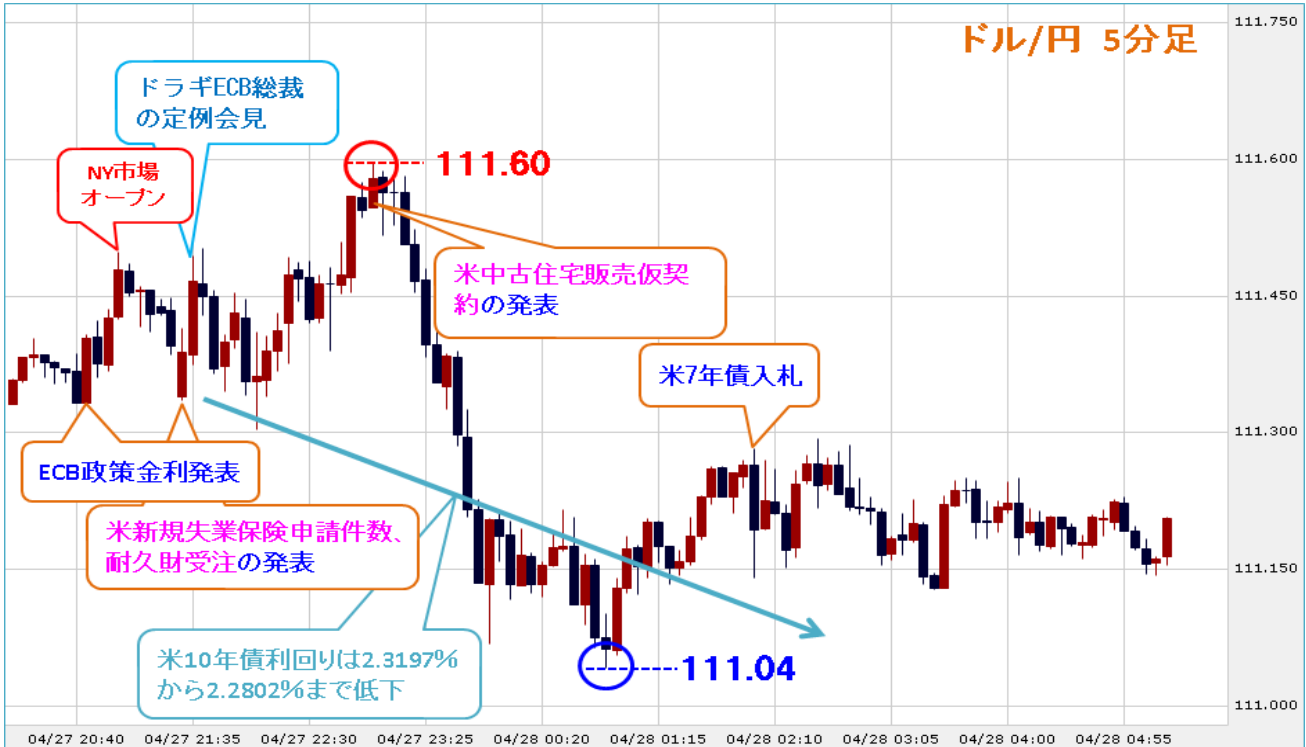
米株式市場は、前日の企業決算が好調だったことから、序盤は堅調な動きとなった。ただ、米主要企業の 1-3 月期の決算発表が引け後に集中しており、内容を見極めようと積極的な取引を手控える雰囲気も広がっており、主要株値はマイナス圏まで下落した。午後には再びプラス圏まで上昇したものの、上値の重い動きが続いた。



出所：Bloomberg

《外国為替市場》

外国為替市場は、序盤堅調な動きが見られたものの、米経済指標の結果が冴えない結果となったことや、ECB 総裁の発言を受けてユーロが大きく下落したことなども影響し、リスク回避の動きが意識され、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。